

# 花みずき

令和元年 11 月号

-発行-

介護老人保健施設

保倉の里

保倉の里診療所

秋は食欲がとまらない!?

旬なうまいもん食べよっさ!!

やはり秋は「食欲」!? ということで、ひまわりグループの園芸活動で栽培した「サツマイモ」を「ふかしいも」と「いもきんとん」に調理し、ご利用者の皆さまに召し上がっていただきました。ご利用者の皆さまから草取り等の手入れを積極的に行っていたいただき、手塩にかけて育てたサツマイモの味は「甘くてうんまい芋だね～」と大変好評でした。



また、職員が自宅で収穫した新米の「コシヒカリ」も味わっていただきました。ご利用者の皆さまから梅干しや昆布等のお好みの具材を選んでいただき、おにぎりにして召し上がっていただきました。「新米は香りも味も格別でうんまい!」「炊き上がりのツヤが違うね～」と、こちらも大変好評でした。「今は電気で何でもできるけど、昔は薪で火を起こして、かまどで炊いていたわね」「赤子泣いてもフタ取るなって良く言われたもんだね～」と昔話に花が咲いていらっしやいました。



## 第 7 回 法人合同勉強会

## パネルディスカッション

当法人では「合同勉強会」と称し、全事業所の職員が一同に会してそれぞれの事業所の取り組みを発表しています。今回はパネルディスカッション形式で、ほくら園(特養)・保倉の里の入所サービスの「集団処遇から個別処遇へ移行した目的・現状・課題」について発表、意見交換を行いました。当施設からは主任介護職員の早川、副主任介護職員の澤田、リーダー介護職員の仲田、富栂がパネリストとして参加しました。発表に対して会場から多くの質疑や議論が起こり、白熱したディスカッションとなりました。このように法人内で有効な取り組みや情報を交換・共有することは、より良いサービスの提供につながるのではないかと考えております。



## 秋季火災予防運動

## 東頸消防署との合同訓練

出勤している職員が少ない「夜間の火災」を想定した訓練を東頸消防署と合同で実施しました。被災状況を正確に把握し、それを消防隊員に伝えることが重要であると改めて認識しました。少人数で初動体制を築くといった実践的な訓練は、防災体制の向上にかかせないと考えており、今後もこのような訓練を重ねてまいります。



## 限定的面会のご協力について

現在、インフルエンザ等の感染症予防の為、面会をご遠慮いただいております。**特別な理由がある場合に限り、インフルエンザの予防接種をされた方のみが面会が可能**ですので、事前に予約の連絡を当施設までお願いします。解除につきましては、地域のインフルエンザの発生状況等を踏まえ、お知らせをいたします。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## ご寄附の紹介

[物 品]・第四銀行 様

上記の方々からご寄付いただきました。厚く御礼申し上げます。

## 相談 (苦情・意見) について

当施設におきましては、受付担当者、解決責任者、第三者委員を置き、利用者・ご家族からの相談(苦情・意見)に対応させていただきます。

解決責任者 施設長 高橋 規一(理事長)  
 受付担当者 支援相談員 内山 裕  
 第三者委員 横山和雄 (025-599-3329)  
 布施一郎 (025-594-3466)

## 発行



社会福祉法人くびき社会事業協会

介護老人保健施設保倉の里

TEL:025-599-3990/FAX:025-599-3991

保倉の里診療所



URL: www.kubiki-sjk.or.jp

TEL:025-595-3123